

オープンイノベーションでひらく！ 新市場、新領域への展開セミナー

企業を取り巻く競争環境等が厳しさを増す中、自社のリソースのみで、新たな顧客の価値を生み出すイノベーションを起こすことはもはや困難であり、オープンイノベーションは必須の戦略となっています。

本セミナーは、オープンイノベーションの意義や成功事例、取組の留意点について紹介し、オープンイノベーションに関する新たな視点や気づきを得ていただくことを目的に実施します。

プログラム

1. はじめに

2. オープンイノベーションの意義と進め方

- ・オープンイノベーションとその意義
- ・オープンイノベーションのパターン
- ・オープンイノベーションの進め方と成功のポイント

株式会社日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 池田 裕一

1990年(株)日本能率協会コンサルティングに入社。以降、製造業を対象とした新製品・新事業開発、新用途・新市場開発、開発テーマ設定などのコンサルティング、研修、講演にあたる。20年近くにわたり、新事業のための社外連携にも取り組んでいる。

著書：開発者のためのマーケティング（同文館出版）ほか



3. オープンイノベーション事例

①「マイクロ波/ミリ波センサーメーカーと半導体メーカーとの業務連携の取組み」

サクラテック株式会社 代表取締役 博士(工学) 酒井 文則 氏

1982年富士通株式会社に入社。マイクロ波コンポーネントの開発から、防衛庁向けシステムの試作開発に従事。2008年にサクラテック株式会社を創業し、ウルトラ・ワイドバンドレーダーの電子走査方式についての研究に注力。また、24GHz/79GHz MIMOレーダーセンサーを開発販売し、「第35回神奈川県工業技術大賞 奨励賞」を受賞。また、チップレスRFIDの研究により社会人博士号を取得。



②「ヘルスケア用超音波画像診断技術を活かした新分野装置開発 ～エステ分野での他社連携の取組み～」

株式会社グローバルヘルス 代表取締役 田中 寿志 氏

大学卒業後、大手フィットネスクラブのインストラクターを務める。その後、身体組成（脂肪、筋肉）画像測定法を考案し、研究現場だけではなく指導現場に普及させる。1995年それまでの実績が認められ、サッカー日本代表チームの筋トレ評価を担当する。ヘルスケア専用エコーの開発仕様を厚労省からアドバイス受けたことがきっかけで開発プロジェクトを発足し、(株)グローバルヘルス起業。



4. マッチング支援事業のご紹介

- ・募集内容、応募方法について

日時 2021年11月1日(月) 16:00～17:20 (Webセミナー)

※1週間の見逃し配信もございます

対象 戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）に東北経済産業局から採択されたことのある企業及びオープンイノベーションに関心のある企業

参加費 無料

締切 開始直前までお申し込みいただけます。

申込方法

以下のURLからお申し込みください。

<https://eipro.jp/jmac-new-industry/events/view/EV00000004>



お問い合わせ先（東北経済産業局委託先）

株式会社日本能率協会コンサルティング R&Dコンサルティング事業本部 担当：野田・石塚

E-mail：r3sapoin@jmac.co.jp TEL：080-3258-0696